

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174100487		
法人名	株式会社 育成		
事業所名	グループホーム 育成会 長生の望・灯・楽		
所在地	北海道釧路市大楽毛南4丁目6番8号 (電話) 0154-57-7650		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月13日	評価確定日	平成19年11月20日

## 【情報提供票より】(平成19年10月16日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	11.4人

### (2) 建物概要

建物構造	S 造り		
	3階建ての 2~3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	34,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(10月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	7 名	要介護2	6 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 80.9 歳	最低	68 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	見田デンタルクリニック・新橋なかやクリニック・星が浦病院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

3階建ての建物で1階は、町内会の集まりや研修の場として開放され、利用者の編み物や刺繍などの作品が展示されたりカラオケを楽しむ場としても利用されているグループホームです。敷地は広く職員・来訪者の駐車スペースも確保され、「育成農園」と称する畑では、人参・大根・茄子などの野菜が栽培され利用者、家族、職員の交流の場となっている。地域との交流も熱心に行われ、「ミニ運動会」の競技や盆踊りなどの行事にも積極的に参加したり、地域の人達に呼びかけホーム主催の行事も開催されています。廊下には、壁掛けの椅子や共用空間にはソファやテーブルが配置され一人になったり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、事故発生時の未然防止の活動について改善点があげられていましたが、事故処理簿に事故内容が記載され再発防止策に取り組みられています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全ての職員が参加して行われ評価項目の細目について職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在9回実施されています。主な主題については医療連携について外部評価の意義と取り組みについて感染症予防について(包括支援センターから)ホームの生活の様子について意見交換
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「育成通信」を毎月発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、近況など家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭管理についても毎月報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の「ミニ運動会」の参加やホーム1階部分を地域に開放したり、ホーム主催の行事を開催して地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩やスーパーでの買い物、ボランティアの受け入れ、「育成通信」の発行や運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして運営者と話し合い独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、毎朝の申し送りで理念を確認し合っている。また、理念を共有部分に掲示している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の「ミニ運動会」の参加やホーム1階部分を地域に開放したり、ホーム主催の行事を開催して地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩やスーパーでの買い物、ボランティアの受け入れ、「育成通信」の発行や運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ評価項目の細目について職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在9回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内の住民代表、包括支援センター、管理者・職員で構成され医療連携についてなど具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、地域の住民や消防署などと連携した具体的取り組みを推進する検討が計画されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市との連携の重要性について理解し、日々取り組みが行われている。</p>		<p>今後はさらに、市各部門との連携を密にしてケアサービスの質の向上に取り組む検討がされています。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「育成通信」を毎月発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、近況など家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭管理についても毎月報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果を運営推進会議で報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでそこでの意見や要望を運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	協議会などの外部の研修参加を積極的に奨励して、参加者のレポート提出や報告会でケアに活かされたり、申送りなどや経営者などの職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		OJT（職場内研修）について、包括支援センターや市との連携した中で、より充実させていく取り組みが検討されている。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の交流会や研修会を通じて他施設との交流が行われている。また、管理者の他施設との相互訪問でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		今後は、職員の他施設との相互訪問などでサービスの向上に取り組む検討がされている。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学やお茶会への参加で不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に畑作業や収穫をしたり、散歩や買物で金銭を使う場面を見出したり、回転すしやラーメンなどの外食で本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや意向を尊重して、散歩や買い物、空港や阿寒までのドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり、カラオケや縫い物、刺繍、畑作業などの趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ3ヶ月毎にカンファレンスを行い具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や散歩や買い物など支援を行っている。また、本人の意向によるリハビリ外出にも対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、訪問看護や医師・歯科医師による往診にも対応されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	訪問の看護師や医師と連携して、利用者・家族とも相談しながら慎重に検討するよう職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して、散歩やスーパーでの買い物、カラオケ、将棋、コンサート鑑賞など本人の希望やペースに沿って支援している。また、プロのピアノの演奏会もホーム1階で開催されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒になって楽しんで食事の準備や食後の後片付けをしている。食事中は、和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間にとらわれず利用者の希望に応じて週2~3回を目安に対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように入浴剤を入れリラックスできるように工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴が把握され、畑での作業や野菜の収穫、カラオケ、掃除、食事の準備や後片付け、買い物や散歩、気分転換のためのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物、散歩、ラーメンなどの外食、阿寒の公園までのドライブなど気分転換ができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は、鍵をかけない取り組みをしている。また、利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても自主点検が実施されています。</p>		<p>今後は、日頃より協力が得られるように近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施していく計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事の摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。また、月一度体重測定も行われ健康管理に配慮されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や居間などの共用空間では、利用者が気になる音の大きさや臭いは感じられない。また、廊下には壁に備え付けの椅子が配置されていたり、居間にはテーブルが配置され自由に過ごせるスペースが確保されている。前庭の畑では、家族も参加して人参や茄子などの野菜が栽培され農作業を楽しんだり気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具やテレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、利用者手作りの作品が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。